

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月14日

計画の名称	街路整備による安全なまちづくり(防災・安全)												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度(5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	桑名市,三重県,鈴鹿市,津市												
計画の目標	通学路の交通安全対策、交通結節点における歩行空間のバリアフリー化による安全な歩行空間の確保や都市災害の防止及び都市内の良好な景観を形成することで、安全で住みやすく魅力あるまちづくりを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	16,355	A	16,355	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5年度末	R7年度末
1	整備区間内の通学路危険箇所に対する対策割合を0%から100%にする。 整備区間内の通学路危険箇所に対する対策割合を算出する。 対策割合=通学路危険箇所対策済箇所数/通学路危険箇所数	0%	25%	100%
2	歩行空間のバリアフリー化対策割合を37%(R3年度当初)から100%(R7年度末)に増加 交付対象の内、バリアフリー化の必要面積の内、評価時点までのバリアフリー化対策実施面積の割合を算出する。 バリアフリー化対策割合 = バリアフリー化対策実施面積 / バリアフリー化必要面積	37%	71%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	桑名市	直接	桑名市	区画	改築	桑名駅西地区(都)蛸塚 益生線外4線	改築 バリアフリー化A=26.6 ha	桑名市						2,190		-	
	A01-002	街路	一般	三重県	直接	三重県	S街路	改築	(都)服部橋新都市線	改築 通学路交通安全対策 L=0.65km	伊賀市						146	2.25	-	
	A01-003	街路	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	S街路	改築	(都)汲川原橋徳田線	改築 通学路交通安全対策 L=0.86km	鈴鹿市						145		-	
	A01-004	街路	一般	三重県	直接	三重県	S街路	改築	(都)桑部播磨線	改築 通学路交通安全対策 L=1.17km	桑名市						6,670	3.49	-	
	A01-005	街路	一般	三重県	直接	三重県	S街路	改築	(都)野町国府線	改築 通学路交通安全対策 L=0.91km	鈴鹿市						1,844	2.54	-	
	A01-006	街路	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	S街路	改築	(都)汲川原橋徳田線(第2工区)	改築 通学路交通安全対策 L=1.28km	鈴鹿市						3,939		-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	街路	一般	津市	直接	津市	S街路	改築	(都)半田久居線	改築 通学路交通安全対策 L=1.14km	津市						1,421		-
											小計						16,355		
											合計						16,355		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	1,265				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	1,265				
前年度からの繰越額 (d)	895				
支払済額 (e)	760				
翌年度繰越額 (f)	258				
うち未契約繰越額 (g)	329				
不用額 (h = c+d-e-f)	1,142				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	68.1				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	用地交渉が難航し、不測の期間を要したため。				

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 街路整備による安全なまちづくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○